

### 申10号「高崎・上越 CTC 化に伴う業務の見直しに関する

### 検証申し入れ」会社に提出！！

3月30日「高崎・上越線 CTC 化に伴う業務の見直し」に基づき、高崎線および上越線の運転取り扱い業務の一部が高崎輸送指令へ集約されました。提案時における CTC 化の主旨として、①効率的な業務執行体制②運行管理の一元化を行うことによりタイムリーな情報提供、遅延時の早期復旧が可能となる、列車の在線位置が把握できるため質の高いお客さま案内が可能となるなどのことが挙げられました。しかし、線路閉鎖作業時の現場における業務実態、輸送指令と現場間の連携や情報提供の方法など、業務実態は提案時の趣旨とかけ離れていると言わざるをえません。

私たちは、異常時における輸送サービス品質のレベルアップとともに、労働条件を担保し、働きがいのある職場と仕事を創りだしていくことが必要と考え、11月7日申10号「高崎・上越 CTC 化に伴う業務の見直しに関する検証申し入れ」を会社に提出しました。

1. 運転指導グループによる運転関係監査の内容について明らかにすること。
2. 水上駅冬季対応について明らかにすること。  
①要員関係 ②作業ダイヤ ③作業間合い
3. 線閉および保守用車の取扱いに関する作業簿の記入例を早急に作成すること。
4. 線閉および保守用車の承認について高崎輸送指令における教育を再徹底するとともに、承認者・照合者間の情報共有を行うこと。
5. 駅との照合は所定の時間に行うこと。
6. 新前橋駅場面において両毛線下り出発、上越・吾妻線上り到着の時刻が同時刻となった場合、信号制御が不能となる事象について早急に改善を図ること。
7. 施策実施後の高崎輸送指令における扱い誤りの件数、内容について明らかにするとともに、取り扱い誤りに対する具体的対策を行うこと。  
①9月12日新前橋駅における732M抑止解除失念について明らかにすること。  
②抑止解除失念について再発防止に向けた具体的対策を行うこと。  
③入区順序誤りにより旅客列車が遅延した事象について件数を明らかにすること。  
④入区順序誤りにより旅客列車が遅延した事象について具体的対策を行うこと。
8. 新前橋駅場面上り列車における上越・吾妻線から両毛線への接続失念した事象について件数と再発防止に向けた具体的対策を明らかにすること。
9. 異常時における高崎輸送指令への応援体制について更なる強化を図ること。
10. 高崎輸送指令と関係箇所間の情報共有の徹底を図ること。
11. 高崎輸送指令における本線担当指令員を常時4名体制とすること。
12. 駅運転取り扱いの事象発生時における水平展開ならびに教育の徹底を図ること。
13. 水上駅における冬季要員を1名増員すること。

以上

**安全・健康・働きがいの観点から今施策と向き合い、働きやすい職場を目指し団交を行います！！**